



都議会の予算特別委員会で、公明党の東村邦浩議員が総括質疑を行った。12日に開かれた東京

**区市町村へ支援へ 風しん予防接種に補助**

## 都予算特委で東村議員

から高額の保証金を要求される課題を指摘。川澄局長は、事業の検証の中で対応を検討する考え方を述べた。(併せて東村議員は、「ケア付きすまい」の供給策として、現行の家賃補助を整備費補助に切り替えるよう提案した。

このほか、東村議員は、20～30代の風しん患者が急増している現状を踏まえ、「緊急的な対応を」と訴えた。川澄局長は「包括補助事業を活用し、ワクチン接種に取り組む」町村を支援する」と答えた。

は、東日本大震災した福島県で、可能工エネル  
ジ事業を行なう、都の官民連携インフラファン  
ド事業を活用した支援を提案した。前田信弘  
知事本局長は「ファンダムのノウハウを同県に  
提供するとともに、同県のプロジェクトに関する  
情報を探して、関係事業者に提供するなど、支  
援につながる最善の取り組みを行う」と答えた。

子育て支援で東村議員は、一部マスコミが「都は認可保育所増設に消極的」と報じた点について、都の見解をただした。川澄俊文福祉保健局長は、今年4月の認可保育所増加数が、過去3年間の平均である50施設を上回る61施設となる見通しと答弁。さらに、区町村や事業者に対する取り扱い、運営事業者が地主権が設定されていると補助対象外となつたり、運営事業者が地主